



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 斉藤 正明 (TEL) 03-6439-1701
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	28,508	10.7	969	—	1,185	—	803	—
2020年12月期第3四半期	25,754	△19.0	△638	—	△470	—	△706	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,215百万円(—%) 2020年12月期第3四半期 △1,437百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	104.41	—
2020年12月期第3四半期	△91.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	49,069	25,025	51.0
2020年12月期	46,722	24,240	51.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 25,025百万円 2020年12月期 24,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	0.00	—		
2021年12月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	8.1	1,600	151.3	1,700	100.4	1,200	177.8	155.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期3Q	7,718,813株	2020年12月期	7,704,613株
2021年12月期3Q	66,387株	2020年12月期	10,677株
2021年12月期3Q	7,694,158株	2020年12月期3Q	7,686,270株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は2021年12月期第3四半期連結会計期間より「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入しており、期末自己株式数には当該信託に残存する自社の株式を含めております。また、当該信託に残存する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が制限されるなど、引き続き厳しい状況で推移しました。一方、足許ではワクチン接種の促進や感染拡大の抑制に向けた政策の効果等による新規感染者の大幅な減少に伴う経済活動の正常化が期待されるものの、国内外の新型コロナウイルス感染症の動向やエネルギー関連の世界的な価格上昇などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、7月以降、首都圏をはじめ各自治体における緊急事態宣言の再発出などによる店舗の臨時休業や時短営業、外出自粛の影響などにより来店客数の減少が長期化し、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、経営環境の変化に対応すべく、EC事業のさらなる強化や重点ブランドの新規出店を推し進めるなど売上高の増加に努めるとともに、不採算ブランドの廃止や不採算店舗の閉鎖、経費の削減など、徹底した効率経営を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は285億8百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は9億6千9百万円(前年同期は6億3千8百万円の営業損失)、経常利益は11億8千5百万円(前年同期は4億7千7百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億3百万円(前年同期は7億6百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、店舗において時短営業や臨時休業等により厳しい環境が続きましたが、主力ブランドの「イル ビゾンテ」の新規出店に加え、「マリメッコ」や「A.P.C.」でのコラボレーション商品の販売など、効果的な販促活動を実施したことにより、売上高は堅調に推移しました。また、EC事業においては、他社サイトへの新規出店に加え、店舗と自社ECサイトとの在庫連携機能を引き続き強化するなど、お客様の利便性向上に取り組んだ結果、EC事業の売上高は前年同期より増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は147億2千8百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は1億9千4百万円(前年同期は1億9千9百万円の営業損失)となりました。

「韓国」につきましては、新型コロナワクチンの接種が進んだことなどにより、店舗への来店客数が回復傾向に向かう中、株式会社アイディー・ルックにおいては、プロモーションを強化した自社ECサイト「I.D.LOOKモール」での販売やインポートブランドの販売が引き続き好調に推移し、売上高が増加いたしました。株式会社アイディー・ジョイにおいても、来店客数が回復し、売上高が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は121億6千7百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は10億9千万円(前年同期比692.0%増)となりました。

「欧州」につきましては、イタリアやフランスでは直営店舗の来店客数は徐々に回復しているものの、海外からの観光客数については未だ回復しておらず厳しい状況が続きましたが、主力である卸売事業は引き続き堅調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28億6千8百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は4百万円(前年同期比98.6%減)となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)において、店舗への来店客数が徐々に回復しているものの、売上高は依然厳しい状況が続きました。米国においても、直営店舗の通常営業再開に伴い来店客数が徐々に回復したものの、売上高は引き続き厳しい状況となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億7千6百万円(前年同期比0.8%減)、営業損失は1億3千7百万円(前年同期は9千6百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は300億4千万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は11億5千2百万円(前年同期比683.4%増)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ外へのOEM事業の取扱高が減少しましたが、生産管理体制の効率化に取り組んだことにより製造費用が減少した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は17億6千9百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は1百万円(前年同期は4千6百万円の営業損失)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、主にEC物流の取扱高が増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9億4千1百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は6千6百万円(前年同期比190.9%増)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが運営する「ジェラテリア マルゲラ」において、緊急事態宣言の発出にともなう時短営業の実施により、店舗での売上高は減少いたしました。宅配サービス等の売上高は伸長いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4千6百万円(前年同期比32.0%増)、営業損失は1千7百万円(前年同期は2千2百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が13億9千5百万円、商品及び製品が7億7千2百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億7千2百万円増加し、236億5千1百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5億7千4百万円増加し、254億1千7百万円となりました。

負債は、借入金、支払手形及び買掛金がそれぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ15億6千2百万円増加し、240億4千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が5億7千2百万円、その他有価証券評価差額金が2億7千1百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ7億8千5百万円増加し、250億2千5百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、51.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、2021年8月5日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,260	7,656
受取手形及び売掛金	4,625	4,235
商品及び製品	9,189	9,962
仕掛品	659	642
原材料及び貯蔵品	639	554
その他	544	648
貸倒引当金	△40	△47
流動資産合計	21,878	23,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,451	2,396
土地	515	518
その他(純額)	853	962
有形固定資産合計	3,820	3,878
無形固定資産		
マーケティング関連資産	10,603	10,562
のれん	3,280	3,221
その他	295	630
無形固定資産合計	14,180	14,414
投資その他の資産		
投資有価証券	1,901	2,367
退職給付に係る資産	536	573
繰延税金資産	1,685	1,485
敷金	2,351	2,306
その他	540	564
貸倒引当金	△173	△172
投資その他の資産合計	6,842	7,125
固定資産合計	24,843	25,417
資産合計	46,722	49,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,810	2,973
短期借入金	2,480	3,374
1年内返済予定の長期借入金	1,967	1,558
未払金	117	219
未払費用	1,905	1,776
未払法人税等	144	116
未払消費税等	245	117
返品調整引当金	20	7
賞与引当金	148	293
ポイント引当金	43	54
資産除去債務	48	44
その他	322	326
流動負債合計	10,254	10,863
固定負債		
長期借入金	8,071	8,742
繰延税金負債	3,211	3,290
退職給付に係る負債	331	255
役員退職慰労引当金	—	14
資産除去債務	249	241
その他	363	636
固定負債合計	12,226	13,180
負債合計	22,481	24,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,380	6,389
資本剰余金	1,661	1,658
利益剰余金	15,691	16,264
自己株式	△13	△88
株主資本合計	23,721	24,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	426	698
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△7	105
その他の包括利益累計額合計	419	801
非支配株主持分	99	—
純資産合計	24,240	25,025
負債純資産合計	46,722	49,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	25,754	28,508
売上原価	12,886	13,752
売上総利益	12,868	14,756
販売費及び一般管理費	13,506	13,786
営業利益又は営業損失(△)	△638	969
営業外収益		
受取利息	15	8
受取配当金	40	34
為替差益	33	116
業務受託料	62	37
その他	144	165
営業外収益合計	296	362
営業外費用		
支払利息	71	68
固定資産除却損	7	22
その他	49	55
営業外費用合計	128	146
経常利益又は経常損失(△)	△470	1,185
特別利益		
助成金収入	430	346
関係会社貸倒引当金戻入額	9	—
資産除去債務戻入益	19	3
その他	—	6
特別利益合計	459	356
特別損失		
臨時休業等による損失	598	326
減損損失	73	4
投資有価証券評価損	22	—
倉庫移転費用	15	—
その他	23	9
特別損失合計	732	339
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△744	1,202
法人税等	△39	393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△704	808
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△706	803

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△704	808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△455	247
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△278	162
その他の包括利益合計	△732	407
四半期包括利益	△1,437	1,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,434	1,185
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に係る会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)において、新型コロナウイルス感染症による影響は2021年度第2四半期までは一定程度継続し、新型コロナウイルス感染症のワクチン普及が進むにつれて徐々に回復に向かうと仮定しておりましたが、2021年度第2四半期以降も新型コロナウイルス感染症が国内外で再拡大し、影響が長期化しております。10月に入り国内では新規感染者数は大幅に減少しておりますが、第6波による再拡大の懸念もあり、当連結会計年度末までは不安定な経済状況が続くとの仮定に変更し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等に関する会計上の見積りを行っております。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」(以下、「本プラン」といいます。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本プランは、「ルックホールディングス従業員持株会」(以下「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「ルックホールディングス従業員持株会専用信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、6年4ヶ月の期間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、従持信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、かかる保証行為に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間75百万円、55千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第3四半期連結会計期間208百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	14,086	10,131	757	278	25,253	403	62	35	25,754	—	25,754
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28	40	1,640	—	1,708	1,478	809	—	3,996	△3,996	—
計	14,114	10,171	2,398	278	26,962	1,882	871	35	29,751	△3,996	25,754
セグメント利益 又は損失(△)	△199	137	305	△96	147	△46	22	△22	101	△740	△638

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△393百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,236百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,583百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
14,587	10,131	757	146	98	33	25,754

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	14,707	12,145	995	276	28,124	290	47	46	28,508	—	28,508
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20	22	1,873	—	1,916	1,478	894	—	4,289	△4,289	—
計	14,728	12,167	2,868	276	30,040	1,769	941	46	32,798	△4,289	28,508
セグメント利益 又は損失(△)	194	1,090	4	△137	1,152	1	66	△17	1,203	△233	969

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△421百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,488百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,300百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
15,091	12,145	995	144	65	65	28,508

(注) 欧州に属する主な国または地域: イタリア、フランス